

平成27年度 第5回委員会 評価実施事業一覧表

【事前評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業概要					備考
					事業目標	事業費 (億円)	採択予定 年度	完成予定 年度	事業内容	
1	都市整備課	街路事業 (連続立体交差事業)	都市高速鉄道 東海旅客鉄道 武豊線 (半田駅付近)	半田市	①踏切除却による道路交通の円滑化、踏切事故の解消 ②都市機能の強化(市街地の分断の解消、駅を中心とした市街地の再生)	163	28	39	鉄道高架化 L=2.6km	

【再評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業目標	事業内容	採択 年度	再評価 該当基準	長期化等 の理由	各評価項目の判定結果			対応 方針 (案)	参考事項：H27年度と前回再評価時との比較 (上段：今回、中段：前回再評価時、下段：事前評価時)					備考		
										事業の 必要性	事業の 見込み	事業の 効果		年度	事業期間	事業費 (億円)	進捗率 (%)	B/C			
2	道路維持課	交通安全対策事業 (交通安全施設等 整備事業)	一般国道301号	新城市	①安全な歩行空間の確保	自歩道整備 延長：520m 幅員：14.5m	H21	再評価	・事業計画 の見直し ・用地交渉 の長期化	B	B	A	継続	H27	H21～H31	11	52	※	※貨幣価値 化困難な効果 で評価 H21： 事業採択時		
														-	-	-	-	-		-	-
3	道路維持課	交通安全対策事業 (交通安全施設等 整備事業)	一般県道 津島七宝名古屋線	あま市	①渋滞の緩和 ②交通事故の削減 ③安全な歩行空間の確保	交差点改良 右折車線新設 歩道整備 幅員：12～15m	H19	再評価	・事業計画 の見直し ・用地交渉 の長期化	A	B	A	継続	H27	H19～H33	9	32	※	※貨幣価値 化困難な効果 で評価 H19： 事業採択時		
														-	-	-	-	-		-	-
4	森林保全課	林道事業 (過疎山村地域代行 林道事業)	かみあらとくろがせせん 上新戸黒淵線	新城市	森林整備の効率化 林道を開設することにより、事 業着工後、間伐等の森林整備を1年 あたり利用区域面積(641ha) の1%実施する。	林道開設 延長：15km 幅員：4m	H23	再評価	事業計画 に基づく	B	A	A	継続	H27	H23～H33	20	14	1.5	H22： 事業採択時		
														-	-	-	-	-		-	-
														H22	H23～H33	20	-	-		1.1	

【事業の必要性】

A：事業着手時に比べ必要性が増大している。  
B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  
C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。

【事業の見込み】

A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。  
B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、  
解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。  
C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の  
目処がたたない。

【事業の効果】

A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。  
B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が  
確保される見通しがある。  
C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が  
確保される見通しが立たない。

【事後評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業概要 (上段：実績、下段：当初)			評価の結果			対応方針 (案)			備考	
					事業目標	事業費 (億円)	事業期間	事業目標の 達成状況	事業効果の 発現状況	事業実施による 環境の変化	今後の事 業評価の 必要性	改善措置 の必要性	同種事業 に反映す べき事項		
															上段：実績 下段：当初
5	森林保全課	治山事業 (水源地域整備事業)	新城市 ななさいっしきちく 七郷一色地区	新城市	森林の有する水源かん養機能を高度に 発揮する。 1)本地区内の荒廃した溪流に治山ダ ム28個を整備することで溪流の 浸食防止と不安定土砂礫の安定を 図る。	5	H17～H22	治山ダム 28個 土留工 3個 本数調整伐 402.84ha	○	○	○	なし	なし	なし	
					2)山腹崩壊地に土留工3個を整備す ることで崩壊地の拡大防止と植生 の回復を図る。 3)森林整備を実施することで、森林 の水土保持機能の回復を図る。	5	H17～H21								
6	都市整備課	街路事業 (連続立体交差事業)	都市高速鉄道 東海旅客鉄道 中央本線 (勝川駅付近)	春日井市	①踏切除却による道路交通の円滑 化、踏切事故の解消	191	H7～H22	鉄道高架化 L=2.5km	○	○	○	なし	なし	あり	
					②鉄道による市街地の分断の解消、 まちの活性化 ③住みよい都市環境の形成	216	H7～H18								